

酪農地域の多様な魅力を発信！新たなビジネスモデルを展開 ～ 中標津町に人を呼び込んで元気にしたい ～

なかしべつ
有限会社竹下牧場（中標津町）



「ushiyado」の看板



「牛」に囲まれる空間



おしゃれな室内

【組織の概要】

- 代 表：竹下 耕介
- 所 在 地：中標津町侯落地区
- 取組事業：酪農、ゲストハウス運営、チーズの製造販売、牧場体験等の企画
- 経営面積：150ha(採草地)
乳牛飼養頭数：330頭(うち搾乳牛180頭)
- 従業員数：6名

<「ushiyado」ホームページ>

<http://ushiyado.jp/>

<「農商工等連携事業計画」の概要>

http://www.hkd.meti.go.jp/hoksn/h29noshoko_n3/h29_3rd_01.pdf

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 酪農を営む竹下代表は、先代から経営を受け継いで約20年。「生まれ育った町を元気にするために何かできないか」と、町内で不動産業を営む(株)山川の山川代表に相談
- ◆ 両代表が、平成29年10月に観光の取組では道内初となる農商工等連携事業計画【牧場の資源を活用した農村都市交流ビジネスの展開】の認定を受け、牧場体験等のアクティビティ等のプロジェクトを展開
- ◆ 国内外の多くの観光客が、中標津町に訪れてもらえるよう町内の空き家を改装し、平成30年6月に「町全体を宿に」をコンセプトとしたゲストハウス「ushiyado」をオープン
- ◆ 酪農地域の魅力を発信するため、牧場敷地内に建設した「チーズ工房」で自家生乳を使用したチーズを製造し、平成31年4月から町内で販売を開始

【取組の成果】

- ゲストハウスの宿泊者は、オープンからの9ヶ月間で約1,500名。外国人や長期滞在客が増加するとともに、リピーターが増加
- 牧場体験の内容(子牛への哺乳、牧場散策等)を充実させたことで、平成30年度の牧場体験の参加者数は約400名を見込む



平成30年12月に完成したチーズ工房

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- ゲストハウス運営の知識不足
⇒ 連携事業者の(株)山川と共同代表で運営することで、民間事業者のノウハウを活用した運営が可能
- こだわりのチーズ製造方法
⇒ 竹下代表の妻が、チーズプロフェッショナル協会のチーズの伝え手となる認定資格を有し、知識を生かしたチーズを製造

【活用した支援施策】

- 「農商工連携事業計画」認定(H29)
- 国産乳製品等競争力強化対策事業(H29補正)

【今後の展望】

- 竹下牧場への訪問客や、ゲストハウスの宿泊客が、地域(飲食店、温泉、商店等)との交流を深める中で、人の温かさや地域の良さを知ってもらう
- 町に多くの人を呼び込み、定住してもらうことで町全体が元気になる取組を推進